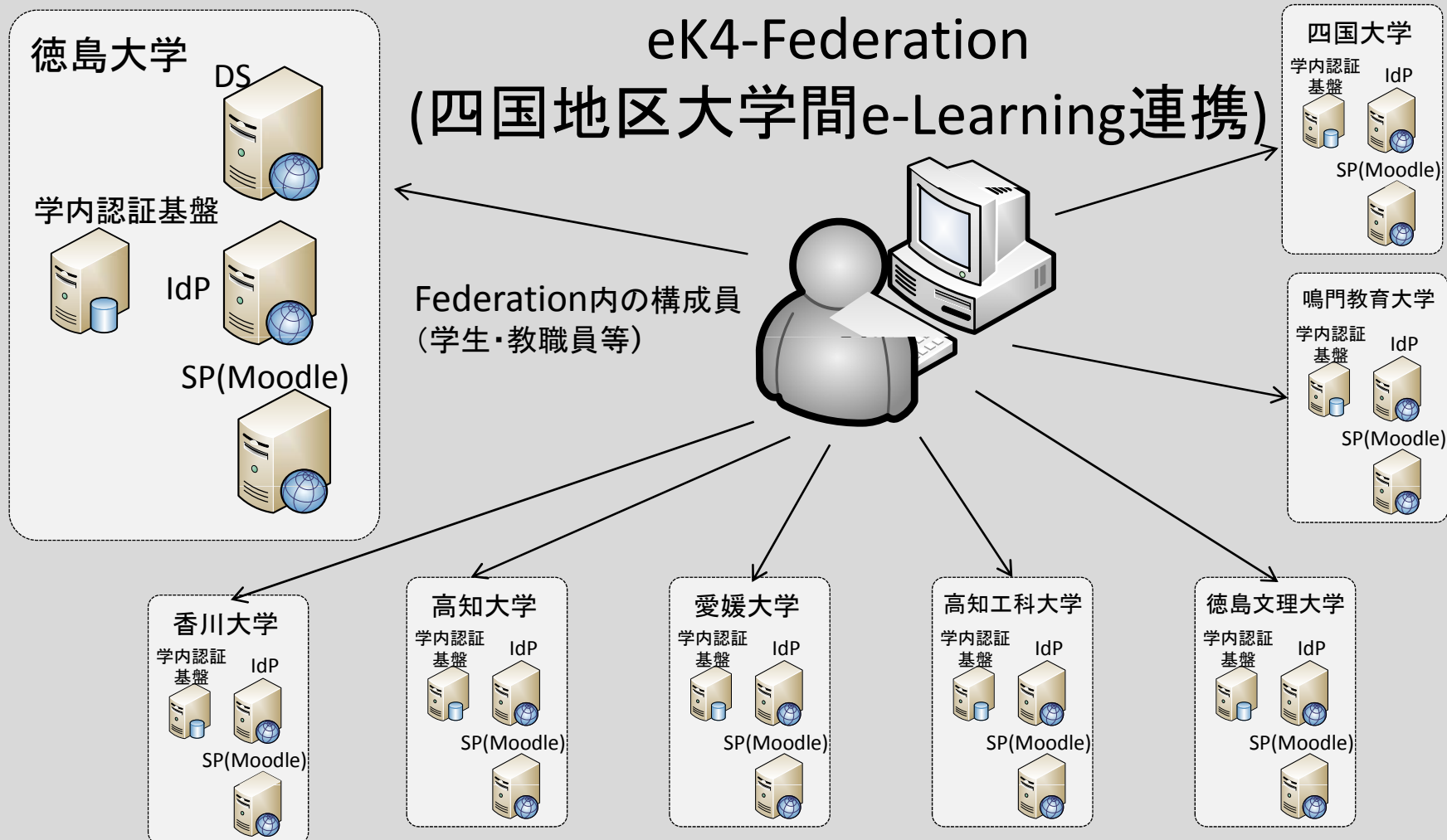




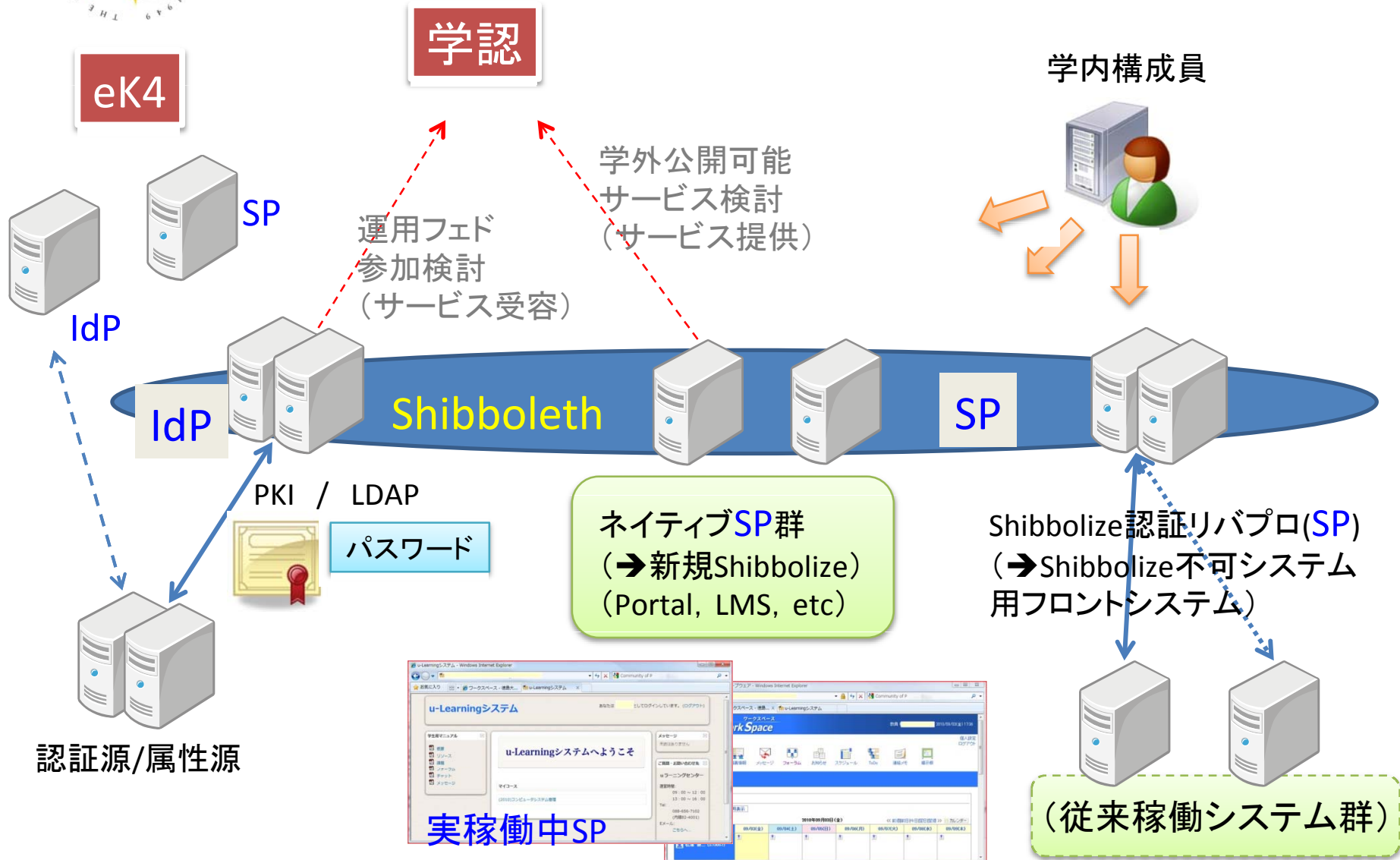
四国におけるeラーニングサービスと個人認証



各大学で認証さえすれば、連携大学のコンテンツに自由にアクセスできる



(参考) 徳島大学の現状





“学認”(NII)への期待について

1. Single Sign Out(SSO)の実現

システムにとってセッションを現実に即して整理したい → システムリソースを有効活用

2. フェデレーション内のプライベート(ローカル)フェデレーションの運用

フラットな認証構造では、いろいろ使いづらい面もでてくるかも → 運用の柔軟性を実現するために

- ・システムのアーキテクチャ
多段DS, 権限に基づく実現等
- ・ポリシーの公開等の管理
- ・ポリシー記述支援ツールの整備
- ・IdP-SP間の運用調整

3. 個人リポジトリ情報の体系化についての調査

個人属性の交換で、LDAPのフォーマット一覧みたいなものがあると、SPの追加が簡単に

- ・各大学のLDAPのフォーマットの調査
- ・データ間の連携の為にメタデータベースの整備

4. その他

学認が、多くの利用者にとって使いやすい、日本の高等教育機関間の認証の標準インフラとなるために